

先週のマーケット動向(8月30日～9月3日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,162.7	1,167.5	1,154.6	1,157.0	▲12.2
JPY/KRW	10.5825	10.6278	10.4826	10.5153	▲0.114
KOSPI	3,160.87	3,215.13	3,130.30	3,201.06	+67.16

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落した。ジャクソンホール講演にてパウエルFRB議長がテーパリング開始以降の金融引き締めに対し慎重な姿勢を示したことを受けて、ドル安が進み30日は1,162.7ウォンでオープンした。31日には良好な7月韓国鉱工業生産(実績:前月比0.4%、予想:同▲0.5%)や月末の実需ドル売りに加え外国人投資家による韓国株買いが大きく入ったこともありドル/ウォンは、1,158.3まで下落した。1日も良好な韓国8月輸出(前年同期比+34.9%)が発表されたほか、2日には韓国2Q GDP(実績:前期比年率0.8%、予想:同0.7%)が上方修正されたこともあり、ウォン高が継続した。金曜日には週安値1,154.6ウォンまで下落するもこの水準では実需のドル買い入り、結局、先週末対比12.2ウォン下落の1,157.0ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は上値の重い展開を予想する。週末の米雇用統計は新規雇用者数の回復が緩慢なものであることを示すだけでなく、平均時給の伸びは高止まりしており、インフレ圧力が継続的にかかることを示唆する内容となった。今週はECB会合を除けば主だった材料もなく、市場のリスクセンチメントが回復するきっかけに乏しい印象だ。かかる状況下、市場全体でドル売り地合いとなりドル/ウォンにしても下値を探る展開となろう。ただし、ドル/ウォンは1,180台から過去2週間で大きく下落してきたこともありスピード調整が入りやすいほか、実需的にもドル買いが期待でき、下落幅は限定的なものになるのではなかろうか。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1145 ~ 1170	10.40 ~ 10.70	108.8 ~ 110.8

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 7日(火) 欧 2Q GDP 確報値
韓 7月 国際収支
中 8月 貿易収支
- 8日(水) 日 7月 国際収支
日 2Q GDP 確報値
- 9日(木) 中 8月 PPI
中 8月 CPI
欧 ECB 政策金利発表
- 10日(金) 米 8月 PPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。